

プログラム

【第1会場】

07:50~08:40 モーニングセミナー 1

司 会：松本 主之（岩手医科大学 内科学講座 消化器内科消化管分野）

テーマ：IBD診療においてNUDT15遺伝子多型検査を行う意義を考える
～アザチオプリンを活用するために～

角田 洋一（東北大学病院 消化器内科）

共催：アスペンジャパン株式会社／株式会社医学生物学研究所

08:50~08:55 開会の辞

会 長：岡崎 和一（関西医科大学 内科学第三講座）

08:55~09:00 理事長挨拶

理事長：渡辺 守（東京医科歯科大学 消化器内科）

09:00~10:30 シンポジウム1：日本から発信されたIBD研究

司 会：鈴木 康夫（東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター）
安藤 朗（滋賀医科大学 消化器・血液内科）

S1-01 炎症性腸疾患に対する青黛の有用性と今後の課題

長沼 誠（慶應義塾大学医学部 消化器内科）

S1-02 クロウン病を対象としたアダリムマブ・アザチオプリンの併用効果に関する前向き研究 (DIAMOND study)

松本 主之（岩手医科大学 消化器内科消化管分野）

S1-03 クロウン病小腸狭窄に対する内視鏡的バルーン拡張術－本邦から発信した多施設前向き試験の結果とその意義－

平井 郁仁（福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター）

S1-04 Utility of Magnetic Resonance Enterography For Small Bowel Endoscopic Healing in Patients With Crohn's Disease

竹中 健人（東京医科歯科大学 消化器内科）

S1-05 潰瘍性大腸炎合併大腸癌サーベイランスにおける狙撃生検とランダム生検のランダム化比較試験

畑 啓介（東京大学 腫瘍外科）

S1-06 炎症性腸疾患で増加する T細胞上のコアフコースは T細胞受容体シグナル活性化と腸炎発症に必須である

新崎信一郎 (大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学)

S1-07 直腸粘膜の microRNAs メチル化を用いた潰瘍性大腸炎癌化症例の拾い上げ

問山 裕二 (三重大学 消化管・小児外科)

10:30~12:00 パネルディスカッション1: 今改めて、二次無効への対処を考える

司 会: 渡辺 守 (東京医科歯科大学 消化器病態学)

松本 主之 (岩手医科大学 消化器内科消化管分野)

PD1-01 IBD 治療におけるバイオ製剤2次無効の現状と対策

鈴木 英之 (日本医科大学武蔵小杉病院 消化器外科)

PD1-02 当科における抗 TNF- α 抗体治療二次無効例の検討

岡藤 啓史 (金沢大学附属病院 消化器内科)

PD1-03 肛門部クローン病に対する生物学的製剤の効果減弱のリスク因子とその対応

三枝 直人 (横山記念病院)

PD1-04 Total adalimumab antibody からみたクローン病アダリムマブ倍量投与効果の検討

加藤 真吾 (埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科)

PD1-05 抗 TNF α 抗体二次無効のクローン病に対する抗体製剤 switch 療法 ~治療成績の現状と課題~

諸井林太郎 (東北大学病院 消化器内科)

PD1-06 炎症性腸疾患におけるチオプリン製剤

梁井 俊一 (岩手医科大学 内科学講座消化器内科消化管分野)

PD1-07 当院におけるクローン病に対する Ustekinumab 治療成績の検討

村手健太郎 (名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学)

PD1-08 クローン病における抗 TNF- α 抗体二次無効時のウステキヌマブの治療成績について

齊藤 詠子 (東京医科歯科大学 消化器内科)

PD1-09 Safety and Efficacy of Ustekinumab Induction Therapy in Patients with Moderate to Severe Ulcerative Colitis : Results from the Phase 3 UNIFI Study

久松 理一 (杏林大学医学部 第三内科学)

12:10~13:00 ランチョンセミナー 1

司 会：岡崎 和一（関西医科大学 内科学第三講座（消化器肝臓内科））

テーマ：術前術後の活動性CD診療におけるトータルケア –内科医と外科医の視点から–

外科サイドからみたクローン病治療 –癌化症例を含めて–

畑 啓介（東京大学 腫瘍外科）

内科医の立場から考えるクローン病のトータルマネジメント

松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座）

共催：ゼリア新薬工業株式会社

13:10~13:25 AIBD2017, CCC2018, 13thECCO 派遣医師参加報告

司 会：岡崎 和一（関西医科大学 内科学第三講座）

RE-01 AIBD2017参加報告

安藤 勝祥（旭川医科大学 地域医療支援および専門医育成推進講座）

RE-02 Crohn's & Colitis Congress (CCC) 2018参加報告

池淵雄一郎（鳥取大学医学部 機能病態内科学）

RE-03 13th ECCO 参加活動報告

福田 知広（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器））

14:35~15:05 コーヒーブレイクセミナー 1

司 会：久松 理一（杏林大学医学部 第三内科学）

テーマ：これからの潰瘍性大腸炎の治療戦略

中村 志郎（兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座内科部門）

共催：武田薬品工業株式会社

15:10~16:10 特別講演 1

司 会：岡崎 和一（関西医科大学 内科学第三講座）

臨床疫学は、日本の医学にバランスをもたらす

福原 俊一（京都大学）

16:10~17:40 ワークショップ1:IBDをいつどうやってモニタリングする?

司 会：緒方 晴彦（慶應義塾大学医学部 内視鏡センター）
中村 志郎（兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座内科部門）

W1-01 潰瘍性大腸炎における粘膜治癒に対する便中カルプロテクチン値と長期予後との関連についての検討

竹内 健（東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座 消化器内科学講座）

W1-02 潰瘍性大腸炎における便中バイオマーカーの罹患範囲を考慮した臨床活用について
櫻庭 彰人（杏林大学医学部 第三内科）

W1-03 顆粒球除去療法(GMA)の効果予測における便中カルプロテクチン測定の有用性
上野 伸展（旭川医科大学 地域医療支援および専門医育成推進講座）

**W1-04 臨床的寛解潰瘍性大腸炎患者における内視鏡的活動性予測マーカーとしてのSAAの有
用性**
若井 雅貴（広島大学病院 消化器・代謝内科）

W1-05 LCIを用いた寛解期潰瘍性大腸炎のモニタリング
内山 和彦（京都府立医科大学 消化器内科）

**W1-06 潰瘍性大腸炎に対する経腹的超音波 (GIUS) の新規活動性スコア：UCUS scoreによ
る治療効果モニタリング**
橋本 悠（横浜市大附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患（IBD）センター）

W1-07 潰瘍性大腸炎患者に対する大腸カプセル内視鏡の工夫
林 由紀恵（慶應義塾大学医学部 消化器内科）

W1-08 炎症性腸疾患における *NUDT15* R139Cヘテロ症例でのチオプリン療法の最適化
高川 哲也（兵庫医科大学）

W1-09 クロウン病小腸病変の評価アプローチ
竹中 健人（東京医科歯科大学 消化器内科）

W1-10 クロウン病における便中カルプロテクチンによる活動性評価と予後の検討
岩本 史光（山梨大学 第1内科）

W1-11 新規発症クローン病に対する Treat-to-target strategyによる治療成績
櫻庭 裕丈（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座）

17:50~19:20 イブニングセミナー1

司 会：日比 紀文（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）
二見喜太郎（福岡大学筑紫病院 臨床医学研究センター（外科））

テーマ：クローン病肛門病変を有する患者へのアプローチ
2nd Japan-Korea Exchange Evening Symposium
-Multidisciplinary approach to IBD care in Asia-

施設発表&パネルディスカッション 演者

日本：内野 基（兵庫医科大学 炎症性腸疾患外科）

石川かおり（兵庫医科大学病院 看護部）

園田みずき（福岡大学筑紫病院 看護部）

韓国：Chang Sik Yu

(Department of Colon and Rectal Surger of the Asan Medical Center,
University of Ulsan College of Medicine)

Ji Hyeon Hwang

(Nursing Department, Asan Medical Center)

Sun Young Nam

(Ewha Medical Center, Ewha Womans University Mokdong Hospital)

統括発言

杉田 昭（横浜市立市民病院 臨床研究部・炎症性腸疾患 (IBD) 科）

共催：アッヴィ合同会社

19:20~19:25 閉会の辞

次担当番会長：二見喜太郎（福岡大学筑紫病院 臨床医学研究センター（外科））

■第2会場（会議室A）

07:50~08:40 モーニングセミナー2

司 会：穂苅 量太（防衛医科大学校 消化器内科）

テーマ：潰瘍性大腸炎の治療最前線

猿田 雅之（東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科）

共催：持田製薬株式会社

09:00~10:30 プレナリーセッション

司 会：日比 紀文（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）
飯島 英樹（大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

- O-01 CEASとCrohn病の鑑別における尿中プロスタグランジンE主要代謝産物濃度測定の有用性に関する検討
松野 雄一（九州大学大学院 病態機能内科学）
- O-02 潰瘍性大腸炎患者における抗菌剤療法と抗菌剤併用便移植療法の治療効果についての検討
岡原 昂輝（順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科）
- O-03 5D intravital imagingによるIBDモデルにおける回盲部免疫応答の観察
津川 直也（東京医科歯科大学 消化器病態学分野）
- O-04 潰瘍性大腸炎患者における腸内細菌叢と予後の関連性についての検討
杉山 智哉（愛知医科大学病院 消化管内科）
- O-05 潰瘍性大腸炎に対する内視鏡検査代替モニタリング法としてのFITの有用性
大森 鉄平（東京女子医科大学 消化器内科）
- O-06 寛解期潰瘍性大腸炎における免疫調節薬の最適化と粘膜治癒を根拠とした休薬に関する検討
竹中 一央（獨協医科大学 消化器内科）

10:30~12:00 パネルディスカッション2：IBD術前・術後管理の課題を明らかにする

司 会：池内 浩基（兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座外科部門）

猿田 雅之（東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科）

- PD2-01 重症潰瘍性大腸炎に対するシクロスポリンによる治療戦略の検討
福田 知広（慶應義塾大学医学部 消化器内科）
- PD2-02 高齢者潰瘍性大腸炎手術症例における手術のタイミング
二木 了（横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科）
- PD2-03 潰瘍性大腸炎患者術後QOL評価方法の検討 - 便中カルプロテクチン測定の意義 -
衣笠 哲史（久留米大学医学部 外科学講座）
- PD2-04 回腸囊炎治療におけるgyrAおよびparC遺伝子変異
福島 浩平（東北大学大学院 分子病態外科学）
- PD2-05 潰瘍性大腸炎に対する周術期人工肛門管理の現状
堀尾 勇規（兵庫医科大学病院 炎症性腸疾患外科）

- PD2-06 潰瘍性大腸炎の周術期における血栓塞栓症のスクリーニングの前向き研究
中尾紗由美（東京女子医科大学 消化器・一般外科）
- PD2-07 クロウン病腸管切除症例における早期内視鏡的再発リスク因子の同定および予測式の構築
池田 敦世（大阪大学医学系研究科 外科学講座 消化器外科学）
- PD2-08 手術前後のサルコペニア・内臓脂肪量の変化とクロウン病術後経過に関する検討
安藤 勝祥（旭川医科大学 地域医療支援および専門医育成推進講座）
- PD2-09 炎症性腸疾患手術における手術部位感染発生率低下に向けた当院の取り組みとその成果について
高橋 賢一（東北労災病院 大腸肛門外科）

12：10～13：00 ランチョンセミナー 2

司 会：松井 敏幸（福岡大学筑紫病院）

テーマ：IBD 治療における生物学的製剤の Best Use を考える

クロウン病治療における Ustekinumab の位置づけを考える
～どのような症例が好適症例となりうるか？～

江崎 幹宏（佐賀大学医学部附属病院）

潰瘍性大腸炎治療における Golimumab の有用性
～実践から見えてきた好適症例像とは？～

鈴木 康夫（東邦大学医療センター佐倉病院）

共催：ヤンセンファーマ株式会社／田辺三菱製薬株式会社

14：35～15：05 コーヒーブレイクセミナー 2

司 会：安藤 朗（滋賀医科大学医学部 消化器内科）

テーマ：抗 TNF α 抗体製剤の新たな選択肢 – 富山大学での臨床研究を踏まえて –

南條 宗八（富山大学大学院 医学薬学研究部 内科学第三講座）

共催：日本化薬株式会社

15：10～16：10 特別講演 2

司 会：金井 隆典（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器））

腸内細菌による免疫修飾

本田 賢也（慶應義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室）

16:10~17:40 エキスパートと学ぶ若手のための症例検討

司 会：久松 理一（杏林大学医学部 第三内科学教室）
 畑 啓介（東京大学 腫瘍外科）

O-07 ステロイド不応・不耐の重症潰瘍性大腸炎の一例
 水野 慎大（慶應義塾大学医学部 消化器内科）

O-08 多発小腸狭窄をきたし手術を要した小腸大腸型クローン病の一例
 新崎信一郎（大阪大学大学院 医学系研究科 消化器内科学）

パネリスト：長沼 誠（慶應義塾大学医学部 消化器内科）
 藤井 俊光（東京医科歯科大学 消化器内科）
 小林 拓（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）
 内野 基（兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座外科部門）

17:50~18:50 イブニングセミナー 2

司 会：緒方 晴彦（慶應義塾大学医学部 内視鏡センター）

テーマ：IBDを理解するための転写因子のイロハ
 溝口 充志（久留米大学医学部 免疫学講座）

共催：ファイザー株式会社

■第3会場（スタジオ1~3）

13:30~14:30 Poster Session

グループ1

座 長：松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科）

P-01 IBD患者における増悪に関与する腸内細菌叢の検討
 谷 瑞季（大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

P-02 インフリキシマブが原因と示唆される *Gemella morbillorum* による敗血症を呈したクローン病の1例。
 山梨 香菜（北海道大学病院大学院医学研究科 消化器内科学分野）

P-03 線状IgA水疱性皮膚症を合併した潰瘍性大腸炎の1例
 菊地 翁輝（杏林大学医学部 第3内科）

P-04 インフリキシマブが奏功したステロイド・シクロスポリン抵抗性 Cronkhite-Canada 症候群の1例
 伊藤 凌（京都大学医学部附属病院 消化器内科）

- P-05 寛解期潰瘍性大腸炎患者における5-ASA 製剤減量時の再燃危険因子の検討
班目 明 (東京医科大学病院 消化器内科)
- P-06 潰瘍性大腸炎重症例に対して Tacrolimus と Golimumab の併用療法が奏功した1例
平良 紗月 (北里大学病院 消化器内科学)
- P-07 潰瘍性大腸炎患者の白血球数は免疫調節薬投与量の指標として有用か? ~第3回臨床研究教育セミナー進捗報告
清原 裕貴 (北里大学北里研究所病院 消化器内科)

グループ2

座長: 畑 啓介 (東京大学 腫瘍外科)

- P-08 潰瘍性大腸炎に合併した大腸鋸歯状病変の臨床的特徴と予後の検討
三井 智広 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患 (IBD) センター)
- P-09 早期発見が可能であったクローン病を背景とした Colitic cancer の1例
小林 裕 (旭川医科大学 内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学分野)
- P-10 炎症性腸疾患に合併した大腸癌の1例
武田 輝之 (福岡大学筑紫病院 IBD センター)
- P-11 当院における潰瘍性大腸炎関連腫瘍の検討
仲松元二郎 (琉球大学付属病院 光学医療診療部)
- P-12 クローン病に合併した小腸癌症例についての検討
小島 大望 (福岡大学筑紫病院 外科)
- P-13 肛門狭窄を伴う Crohn 病において早期に発見し得た肛門管 high-grade dysplasia の1例
品川 貴秀 (東京大学 腫瘍外科)
- P-14 アダリムマブ導入後、直腸の low grade dysplasia が消失した 難治性潰瘍性大腸炎の1例
高橋 索真 (香川県立中央病院 消化器内科)
- P-15 バイパス術を行ったクローン病十二指腸狭窄3例の検討
上床 崇吾 (福岡大学筑紫病院 外科)

グループ3

座長: 工藤 孝広 (順天堂大学 小児科)

- P-16 新規血清マーカー ACP353 の小児クローン病診断に対する有用性: 前方視的多施設研究
水落 建輝 (久留米大学 医学部 小児科)

- P-17 小児期発症の潰瘍性大腸炎における病型進行に関する検討
佐藤 真教 (順天堂大学 小児科)
- P-18 小児潰瘍性大腸炎に対するインフリキシマブの長期的な有効性
吉田 正司 (埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科)
- P-19 小児の難治性潰瘍性大腸炎におけるアダリムマブの治療成績
南部 隆亮 (埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科)
- P-20 学童期発症の潰瘍性大腸炎の治療と臨床経過の検討
高野 智子 (大阪急性期・総合医療センター 小児科)
- P-21 当院における超早期発症炎症性腸疾患 (VEOIBD) 患者の臨床像
西澤 拓哉 (群馬大学医学部附属病院)

グループ4

座 長：江崎 幹宏 (佐賀大学医学部附属病院 光学医療診療部)

- P-22 脾腫による胃静脈瘤形成および汎血球減少を呈したクローン病の一例
村上 雄紀 (旭川医科大学 内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野)
- P-23 クローン病の疾患活動性モニタリングにおけるMRI拡散強調画像所見と組織学的所見
についての検討
蓮井 桂介 (弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座)
- P-24 サイトメガロウイルス再活性化を伴った潰瘍性大腸炎患者の内視鏡所見と臨床的背景
に関する検討
北本 博規 (京都大学医学部附属病院 消化器内科)
- P-25 潰瘍性大腸炎再燃例に対するタクロリムス再導入と生物学的製剤へのスイッチの比較
小野寺基之 (東北大学病院 消化器内科)
- P-26 Golimumabへのバイオスイッチとチオプリン製剤の最適化で寛解が得られた難治性潰
瘍性大腸炎の一例
安藤 祐吾 (関西医科大学 内科学第三講座)
- P-27 ステロイドによる寛解導入中にCMV再活性化を認めた潰瘍性大腸炎の1例
中川 達矢 (関西医科大学 消化器肝臓内科)
- P-28 クローン病患者における経腸栄養療法の効果と問題点について
三浦まゆみ (家田病院 看護部)
- P-29 当院におけるプデゾニドの注腸フォーム剤の有効性の検討
藤澤 美亜 (東海大学医学部附属病院 内科学系消化器内科学)

グループ5

座長：東 大二郎（福岡大学筑紫病院 外科）

- P-30 当院における潰瘍性大腸炎に対する1期的J型回腸囊肛門吻合術の検討
桑原 隆一（兵庫医科大学 炎症性腸疾患外科）
- P-31 十二指腸穿孔にて発症したクローン病の1例
羽根田 祥（東北労災病院 大腸肛門外科）
- P-32 クローン病に合併した痔瘻癌4例の検討
大曾根勝也（群馬大学医学部附属病院 外科診療センター）
- P-33 潰瘍性大腸炎に対し大腸全摘・J型回腸囊肛門吻合術後に ileal cast を生じた1例
皆川 知洋（兵庫医科大学病院 炎症性腸疾患外科）
- P-34 狭窄を伴う潰瘍性大腸炎手術症例5例の検討
中本 貴透（奈良県立医科大学 消化器・総合外科）
- P-35 クローン病の術後長期経過例に対する管理法の確立に向けた当科での取り組み
渡辺 和宏（東北大学 消化器外科学）
- P-36 大腸狭窄を伴った大腸炎の3例
秋田 義博（東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科）

グループ6

座長：小林 拓（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

- P-37 潰瘍性大腸炎患者における便中カルプロテクチンと臨床所見の相関性の検討
福生 有華（順天堂大学医学部附属練馬病院 消化器内科）
- P-38 顆粒球除去療法を中心とした治療経過で、便中カルプロテクチン測定を行った潰瘍性大腸炎3例の経験
加賀谷尚史（国立病院機構 金沢医療センター 消化器内科）
- P-39 便中カルプロテクチンは、顆粒球単球除去療法中の潰瘍性大腸炎患者の内視鏡的活動性と有意に相関し、治療後の臨床経過予測に有用である
下山 貴寛（四日市羽津医療センター IBD センター）
- P-40 若年炎症性腸疾患患者における便中カルプロテクチンの有用性
吉村 哲広（久留米大学 内科学講座 消化器内科部門）
- P-41 当院潰瘍性大腸炎患者における臨床的活動性評価指標と便中カルプロテクチン値の検討
清水 大樹（国立病院機構金沢医療センター 消化器内科）

- P-42 寛解期クローン病患者における腸内細菌とビタミン K 欠乏症の代替指標の関連
我妻 康平 (札幌医科大学 消化器内科学講座)
- P-43 UC 診療や患者医師間意志疎通に関する双方の視点の世界的調査:UC Narrative の日本解析結果
渡辺 憲治 (兵庫医科大学 腸管病態解析学)
- P-44 当院IBDセンターにおいてサラゾスルファピリジンへのswitchを行った潰瘍性大腸炎症例の検討
大和 洸 (帝京大学 内科)

グループ7

座長：新崎信一郎 (大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学)

- P-45 *SAMD9* 遺伝子異常は XIAP の抑制により消化管アポトーシスを誘導し腸炎を来す新規の Monogenic IBD 遺伝子である
石毛 崇 (群馬大学大学院医学系研究科 小児科学)
- P-46 オートファジーは小胞体ストレス誘導性アポトーシスの抑制を介してデキストラン硫酸ナトリウム (DSS) 誘発慢性腸炎を改善する
西野 恭平 (滋賀医科大学 消化器内科)
- P-47 迷走神経による腸管免疫制御機構の検討
三上 洋平 (慶應義塾大学医学部 内科学教室 (消化器))
- P-48 デキストラン硫酸ナトリウム (DSS) 腸炎に対するプロスタシン (Prss8) の機能解析
杉谷 義彦 (滋賀医科大学 消化器内科)
- P-49 ラット TNBS 大腸潰瘍モデルにおける自己組織化ハイドロゲルの有用性の検討
荒木 俊博 (久留米大学 内科学講座消化器内科部門)
- P-50 各種腸疾患における ACP353 (Anti-Crohn's disease peptide No.353) 血中濃度の測定：多施設共同研究
吉岡慎一郎 (久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門)
- P-51 腸上皮細胞のオートファジー欠損は酸化ストレス応答を介して腸炎を増悪させる
柿本 一城 (大阪医科大学 第二内科)

グループ8

座長：遠藤 克哉 (東北医科薬科大学 消化器内科)

- P-52 Mirikizumab (IL-23 製剤) の日本人を含む潰瘍性大腸炎 (UC) 患者での第 II 相試験の有効性及び安全性
本谷 聡 (JA 北海道厚生連 札幌厚生病院)

- P-53 Tocilizumab投与で増悪し、Adalimumab投与で寛解導入した高安動脈炎関連腸炎の一例
吉村 大 (山梨大学 第1内科)
- P-54 入院を要する炎症性腸疾患患者における骨格筋量減少の実態
太田 佑樹 (千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学)
- P-55 改良アダリムマブによる自己注射のアドヒアランス向上への取り組み～アンケート調査をもとに～
霍田 菊代 (大腸肛門病センター高野病院)
- P-56 潰瘍性大腸炎患者の5-ASA製剤不耐は入院の危険因子となる
水野 慎大 (慶應義塾大学医学部 消化器内科)
- P-57 抗TNF- α 抗体製剤投与中に大動脈炎症候群を合併した潰瘍性大腸炎(UC)の1例
大野 隆 (平和会吉田病院 消化器内視鏡・IBDセンター)
- P-58 腸管ベーチェット病の手術症例における病理組織学的検討
明本 由衣 (弘前大学大学院医学研究科 病理診断学講座)

グループ9

座長：福井 寿朗 (関西医科大学 内科学第三講座)

- P-59 潰瘍性大腸炎と鑑別が難渋したエロモナス腸炎の1例
鍋田 陽昭 (大船中央病院 消化器・IBDセンター)
- P-60 腸管スピロヘータ感染合併潰瘍性大腸炎例および鑑別困難例の検討
岩本 淳一 (東京医科大学茨城医療センター 消化器内科)
- P-61 潰瘍性大腸炎の活動性評価における腹部超音波検査の精度
金沢 徹雄 (北里大学北里研究所病院 臨床検査科)
- P-62 活動期潰瘍性大腸炎患者に対するブデソニド注腸フォーム剤の有用性の検討
森田 俊 (久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門)
- P-64 GMA追加で速やかに寛解導入が可能であった高度活動性病変を有する高齢者ステロイド依存性UCの一例
高野 恵輔 (福岡大学筑紫病院 消化器内科)
- P-65 当院における高齢発症潰瘍性大腸炎患者の検討
米沢麻利亜 (東京女子医科大学 消化器内科)
- P-66 治療に難渋した合併症の多い高齢潰瘍性大腸炎の一症例
箱田 祥光 (国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 総合診療科)

グループ10

座長：長沼 誠（慶應義塾大学医学部 消化器内科）

- P-67 活動期潰瘍性大腸炎の治療効果判定に有用な内視鏡スコアについて
川岸 加奈（北里大学医学部 消化器内科学）
- P-68 減量に伴い粘膜治癒を認めた高度肥満の潰瘍性大腸炎の1症例
鮫島 洋一（公益財団法人慈愛会 いづろ今村病院 消化器内科）
- P-69 血栓性静脈炎を繰り返す潰瘍性大腸炎の一例
白木 学（東北労災病院 炎症性腸疾患センター）
- P-70 過疎地域病院における炎症性腸疾患診療の現状
植田 剛（南奈良総合医療センター 外科）
- P-71 5-ASA 製剤内服量がUCの臨床的重症度・内視鏡的重症度に与える影響
藤林 遼（北海道消化器科病院）
- P-72 家族性地中海熱の2症例
浦上 富生（関西医科大学 内科学第三講座）
- P-73 *MEFV* 遺伝子変異を伴った多発小腸潰瘍の1例
古田 陽輝（熊本大学医学部附属病院 消化器内科）
- P-74 内視鏡的粘膜治癒を認める潰瘍性大腸炎における組織学的治癒の有無および臨床的所見の検討
岡野 荘（JCHO 東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科）

グループ11

座長：長堀 正和（東京医科歯科大学 消化器内科）

- P-75 Anti-TNF α 治療後症例に対するウステキヌマブの有用性の検討
梅沢翔太郎（大船中央病院 消化器・IBD センター）
- P-76 当院におけるTNF α 阻害薬 failure のクローン病に対するウステキヌマブの有効性
有光 晶子（医療法人錦秀会インフュージョンクリニック）
- P-77 ウステキヌマブ投与によるクローン病小腸病変の内視鏡的变化と短期的予後の検討
伊藤 貴博（札幌東徳洲会病院 IBD センター）
- P-78 皮膚病変を呈したCrohn病に対しウステキヌマブが有効であった一例
有吉 美紗（呉共済病院 消化器内科）

- P-79 インフリキシマブ投与中に生じた乾癬様皮疹に対してウステキヌマブが有用であったクローン病の一例
細見 周平 (大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学)
- P-80 視神経炎が先行しウステキヌマブが有効であったクローン病の1例
Effect of Ustekinumab on a patient with Crohn's Disease following Optic Neuritis
白石 暁 (九州大学大学院医学研究院 成長発達医学分野)
- P-81 クローン病に対するウステキヌマブ治療例の検討
松川 弘樹 (金沢大学附属病院 消化器内科)
- P-82 当院IBDセンターにおけるウステキヌマブ症例の検討
松田 圭二 (帝京大学 外科)
- P-83 インフリキシマブ投与中の乾癬様皮疹に対しウステキヌマブを投与した一例
漆久保 順 (岩手医科大学 内科学講座消化器内科消化管分野)

グループ12

座 長：平井 郁仁 (福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター)

- P-84 1日8Lの大量下痢を伴い全身状態不良であったCrohn病に対しブデゾニド腸溶剤が著効した1例
西村 弘之 (防衛医科大学校病院 内科学2 講座)
- P-85 クローン病小腸狭窄病変に対するシングルバルーン小腸内視鏡を用いた内視鏡的バルーン拡張術の長期成績について
森田 康大 (滋賀医科大学 消化器内科)
- P-86 クローン病におけるインフリキシマブ一次無効例の検討
岩永 明人 (済生会新潟第二病院 消化器内科)
- P-87 潰瘍性大腸炎における5-ASA製剤とチオプリン製剤の相互作用に関する研究
森久保 拓 (北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター)
- P-88 クローン病患者に対するタクロリムス治療の有効性と安全性：メタアナリシスによる検討
飯田 智哉 (札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)
- P-89 非特異性多発性小腸潰瘍症の臨床徴候について－全国調査報告－
梅野 淳嗣 (九州大学大学院 病態機能内科学)
- P-90 ベーチェット病腸管病変に対する経口5-アミノサリチル酸製剤の有効性
池田 礼 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患 (IBD) センター)

グループ13

座長：藤井 俊光（東京医科歯科大学 消化器内科）

- P-91 免疫チェックポイント阻害薬関連大腸炎の4例
長島 一哲（北海道大学病院 消化器内科）
- P-92 好酸球性胃腸炎の合併が疑われた Cronkhite-Canada 症候群の1例
田中 啓仁（鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学）
- P-93 8番染色体異常を伴う骨髄異形成症候群に合併した多発小腸潰瘍の一例
相原 洋祐（奈良県総合医療センター 消化器内科）
- P-94 体外式超音波検査を用いたパテンシーカプセルによる開通性評価の有用性
川上 智浩（JA 北海道厚生連札幌厚生病院 医療技術部放射線技術科）
- P-95 当院で経験した高安動脈炎を合併した潰瘍性大腸炎の3例
寺澤 正明（福岡大学筑紫病院 消化器内科）
- P-96 自己免疫性肝炎を合併した潰瘍性大腸炎の臨床的特徴の検討
藤森 絢子（兵庫医科大学病院 炎症性腸疾患内科学）
- P-97 Mucosal healing 達成後に再燃したニボルマブ関連腸炎の1例
菊池 英純（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座）
- P-98 チオプリン製剤の optimization と 6-TGN・6-MMP の測定意義について
高橋憲一郎（滋賀医科大学 消化器内科）

グループ14

座長：松浦 稔（京都大学医学部附属病院 内視鏡部）

- P-99 5-ASA 製剤による薬剤性肺炎の1例
岡部 悟（済生会千里病院 消化器内科・免疫内科）
- P-100 潰瘍性大腸炎経過中に5ASA 製剤の再投与により急性膵炎を再発し、原因薬剤が確定した薬剤性膵炎の一例
好川 謙一（医療法人社団 永生会 南多摩病院 内科）
- P-101 Infliximab による薬剤性肺炎を発症した潰瘍性大腸炎の1例
伊藤 隆士（北里大学医学部 消化器内科学）
- P-102 pH 依存型メサラジン放出調節剤投与後に心筋炎を発症した潰瘍性大腸炎の1例
川島 耕作（島根大学医学部附属病院 IBD センター）
- P-103 当院での潰瘍性大腸炎に対する血球成分除去療法の有効性
都築 義和（埼玉医科大学 消化管内科）

- P-104 潰瘍性大腸炎に対する single-needle 法を用いた血球成分除去療法(GCAP/LCAP)の有
 用性
 山崎 博 (久留米大学 内科学講座消化器内科部門)
- P-105 活動期潰瘍性大腸炎の大腸粘膜における Epstein-Barr virus 再活性化についての検討
 山田 聡 (京都大学 消化器内科)
- P-106 先天性血友病Bを合併する Crohn 病で大量出血をきたした一例
 小林三四郎 (関西医科大学 内科学第三講座)

グループ15

座 長：横山 薫 (北里大学医学部 消化器内科学)

- P-107 生物学的製剤継続における予約受診しなかった患者への電話連絡の効果
 袴田 麻美 (札幌東徳洲会病院 消化器・IBD センター看護部)
- P-108 青年期にある IBD 患者への就労・就学支援の在り方—地域につなげるケアの視点から
 考える看護師の役割—
 久保百合香 (旭川医科大学病院 6 階西病棟)
- P-109 アダリムマブの効果減弱を来したクローン病における増量の短期・長期有効性と予後
 予測因子の検討
 宮川 麻希 (札幌厚生病院 IBD センター)
- P-110 IBD 領域における生物学的製剤初回導入患者の生物学的製剤の継続期間に関する調査
 柴原 由季 (辻仲病院 柏の葉診療技術部薬剤科)
- P-111 IBD 患者の心理特性の違いとメディカルスタッフのより良きケアの検討
 森本 愛 (インフュージョンクリニック)
- P-112 炎症性腸疾患が妊娠、出産に与える影響についての検討
 有光 晶子 (医療法人錦秀会インフュージョンクリニック)
- P-113 当院における炎症性腸疾患合併妊娠症例の臨床的検討
 守屋 圭 (奈良県立医科大学 消化器・内分泌代謝内科)
- P-63 老年期クローン病患者の療養生活の実際およびニーズの明確化 (第1報)
 山本 孝治 (日本赤十字九州国際看護大学)

CCC2018, 13th ECCO 派遣医師参加報告

- RE-04 Smoking negatively affects disease course regardless of smoking amount and may
 be associated with Paneth cell phenotype in Japanese Crohn's disease patients
 内藤 健夫 (東北大学 消化器内科)

RE-05 Crohn's & Colitis Congress 2018 派遣医師参加報告

白壁 和彦 (西埼玉中央病院 消化器内科)

RE-06 13th ECCO 参加報告 CD についての発表内容と当施設の発表 (Usefulness of transabdominal ultrasonography in assessing Ulcerative Colitis) について

木下 賢治 (北海道大学 消化器内科学)